3 道徳A

お話③ 1枚目

月日

名前

まさとくんの 学校では、すいえいの じゅぎょうが はじまりました。
まさとくんは プールに 入るのが だいすきなので、たのしみで たまりません。
「さあ、きょうは プールに はいりますよ。
みなさん、きがえを して プールに 入る じゅんびを しましょう。」
先生の こえに、みんな いそいで きがえを はじめました。
『ぼく、もうきが えたよ。いちばんだ。』
大きな こえに ふりむくと、かずやくんが もうきがえおわって
きょうしつを とびだそうと しています。

「はやいなあ。」
みんな びっくりです。
でも、よくみたら、みんなは もっと びっくりして しまいました。
パンツも、シャツも、きていた ふくが、みんな ゆかの 上に おちています。
「かずやくん、ちゃんと ふくを たたんで かたづけて おかなきゃ だめだよ。」
『いいよ、そんなの。はやく プールに いこうよ。』
「だめだよ、ふくが なくなっちゃうかもしれないし、
だれかが ふんじゃうかもしれないよ。」
「そうだよ。ぼく、パンツが おちて いるなんて、なんか いやだよ。」
かずやくんは、みんなに 言われて、しぶしぶ ふくを ひろいました。
『これならいいだろう。』
たなの 上に ぐちゃぐちゃの ままおくと、
かずやくんは プールに いって しまいました。
みんなは かおを みあわせました。